

文学部主催講演会 「カヴァアナ大使を迎えてーアイルランド文化と音楽ー」

6月21日、文学部講演会「カヴァアナ大使を迎えてーアイルランド文化と音楽ー」が長久手キャンパスにて開催されました。駐日アイルランド大使のポール・カヴァアナ氏が講師を務め、ゲストとして本学名誉教授の大野光子先生、フィドル・ヴィオラ奏者の小松大氏、元宝塚歌劇団員の奈加靖子氏も登壇しました。

カヴァアナ大使は、アイルランドの社会や歴史、国章に描かれるアイリッシュハーブについて英語でわかりやすく説明。学生は熱心に聞き、多様性に富むアイルランド文化への理解を深めました。また、小松氏と奈加氏によるアイルランド音楽の演奏もあり、美しいハーモニーが講演会に華を添えていました。



学生団体が「中日SDGsフェア」に参加

8月20日に名古屋市のウイנקあいちで開催された「中日SDGsフェア」に、交流文化学部林ゼミ「Tamagon」とCCC学生団体エネASが参加しました。中日新聞社が主催のこのイベントは、SDGsの内容や取り組みを楽しく伝えることが目的です。多様な企業・団体・大学が協働し、セミナーやゲーム、ワークショップなどを行い、学生たちはブースを出展し、海洋プラスチックを活用したアクセサリーづくりの紹介、絶滅危惧種をテーマとした子ども向けクイズなどを実施。SDGsに関するプレゼンテーションも行い、新たな気づきを得ながらSDGs活動の意義を深く考察しました。



長久手キャンパス整備工事(13号棟)竣工祭

2024年度に愛知淑徳学園が創立120周年、愛知淑徳大学が創設50周年を迎えるにあたり、周年記念事業の一環として長久手キャンパスの整備が進められています。今年度は13号棟が完成し、8月8日に竣工祭が挙行されました。徹底した感染症対策のもと関係者が参列し、すべての祭儀が滞りなく執り行われました。

13号棟には、健康医療科 学部医療貢献学科言語聴覚学専攻・視覚科学専攻や愛知淑徳大学クリニックの関連施設が移設され、健診センターなども設置予定です。医療・健康系分野の教育体制とクリニックの充実を図り、地域社会との連携を一層強めていきます。



第2回オーブンキャンパス

7月23日・24日に「第2回オーブンキャンパス」が長久手・星が丘両キャンパスにて開催されました。

本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底しつつ、3年ぶりとなる事前予約不要での開催となりました。

第2回オーブンキャンパス限定でおこなわれた模擬授業や公募制推薦

入試対策講座では、多くの方が熱心に受講していました。他にも学科・専攻説明や特別企画、在学生によるトークライブなど、学生生活を感じられる企画も多く、来場した皆さまにとって愛知淑徳大学の魅力に触れ、さまざまな学びを体験することができる2日間となりました。



中学校オープンスクール

淑徳晴れとなった6月4日、3年ぶりにオープンスクールを開催しました。感染対策のため事前申込制にし、1192人の方が参加されました。全体会では校長挨拶、愛知淑徳紹介映画、クラブ発表、入試説明を行いました。特にクラブ発表は、淑徳生の生き生きとした様子が伝わり好評でした。

本校教員による授業の体験後は、クラブ見学や校舎見学を行いました。参加者から「時間が足りなかった」という声が聞かれたほど、ワードラリー、淑徳生に聞く、個別相談などの企画が盛りだくさんでした。コロナ禍において、実際に学校を見て体験していただけの貴重な機会となりました。



2022年度 私立中学フェア

7月30日・31日にミッドランドスクエアにて、愛知県、岐阜県の私立中学校25校が参加して「私立中学フェア」が開催され、全体の参加者は1794人でした。

今年度も感染防止対策として、事前予約制で、一組10分の個別相談のみの実施となり、本校には127組の方が相談にいらしていました。

10分の相談ではありましたが、入試や入学後の生活などの質問にお応えしつつ、私立中学進学を検討している保護者の皆様や児童に本校の特長を伝える有意義な機会となりました。



夏山登山

大正時代から続くという恒例の愛知淑徳の夏山登山。今年は7月30日に岐阜県郡上市の大日ヶ岳（標高1709m）に生徒37人、教員6人で行ってきました。昨年を引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で日帰りとはなりませんが、天気にも恵まれ、登山中に高山植物を見つ

の絶景を楽しんだりと充実した1日を過ごすことができました。日帰りとはいえ、標高差600m、約6時間の登山で、終わった後には達成感や自信を得られた生徒も多く、ぜひ来年も参加したいという声が多く上がりました。

